

第3回 Okinawa Pacific Eye Conference

謹啓

皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、このたび「第3回Okinawa Pacific Eye Conference」を
下記日程で開催することとなりましたのでご案内申し上げます。
つきましてはご多用とは存じますが、万障お繰り合わせのうえ
是非ともご出席を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

2023年1月14日(土) 18:00~20:00

【会場】 沖縄ハーバービュー 2階 金鶏 (那覇市泉崎2丁目46)

【形式】 **ハイブリッド開催** (Zoomを用いた**LIVE配信** 及び **現地会場参加**)

『Opening Remarks』 知念 靖 先生 (沖縄県眼科医会 会長)

座長

古泉 英貴 先生

(琉球大学大学院医学研究科医学専攻眼科学講座 教授)

講演Ⅰ 18:00~18:40

『眼外傷に関連する網膜・脈絡膜疾患』

恩田 秀寿 先生

(昭和大学医学部眼科学講座 主任教授)

講演Ⅱ 18:40~19:20

『網膜硝子体疾患における画像解析と視機能』

三田村 佳典 先生

(徳島大学大学院医歯薬学研究部眼科学分野 教授)

講演Ⅲ 19:20~20:00

『緑内障に関する最近の話題：QOL、DH、PPG』

福地 健郎 先生

(新潟大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野 教授)

主催：千寿製薬株式会社

講演 I

眼外傷に関連する網膜・脈絡膜疾患

恩田 秀寿 先生 (昭和大学医学部眼科学講座 主任教授)

眼外傷は損傷部位別に眼球外傷と眼窩外傷に分類できる。さらに眼球外傷は閉鎖型と開放型に分類され、前者には眼球振盪、外傷性白内障または網膜裂孔が含まれ、後者には強角膜裂傷、眼球穿孔、眼内異物、眼球破裂が含まれる。眼球外傷が発生するためには、物体の持つエネルギーが眼球に直接働いた時であり、その条件には物体の大きさ、物体の衝突する角度、直達外力と介達外力、外力に脆弱性のある組織が関与する。閉鎖型眼球外傷はいわゆる鈍的外傷であり、さまざまな眼内病変を生じうる。鈍的外傷に伴う網膜病変には、Purtscher網膜症、外傷性CRAO・医原性CRAO、外傷性網膜剥離・外傷性毛様体裂孔、外傷性黄斑円孔があり、脈絡膜病変には、脈絡膜断裂、低眼圧黄斑症、三角症候群がある。特殊な眼外傷にレーザー網膜症や乳幼児虐待性頭部外傷がある。本講演では各疾患のクエスチョンを提示し、問題を考えていきたい。

講演 II

網膜硝子体疾患における画像解析と視機能

三田村 佳典 先生 (徳島大学大学院医歯薬学研究部眼科学分野 教授)

OCTをはじめとする眼底画像診断の進歩は、これまでとらえることができなかった眼底所見を明瞭に提示することを可能にし、網膜硝子体病変の検出や病態の解明、治療効果の定量化をもたらすとともに視機能や視力予後の推測にも極めて有用なツールとなっている。

OCTはOCT2000に始まり、現在ではSD-OCT、SS-OCTが主流となり飛躍的に解像度が向上した。Time-domain OCTで観察されていたEllipsoid zoneについては以前から黄斑円孔などの黄斑疾患で解析が行われてきたが、近年はSD-OCTを用いて、より詳細な黄斑形態の解析がなされるようになった。本講演ではOCT所見などの画像所見と視力や網膜感度などの視機能との関連性について概説したい。

また、眼底自発蛍光検査は網膜色素上皮におけるリポフスチンの分布を描出することができる。リポフスチンは視細胞外節の生理的な貪食に伴う代謝産物であり、眼底自発蛍光は網膜色素上皮の代謝機能を反映しているといえる。我々はこの眼底自発蛍光検査を用いて網膜色素変性における視機能との関連について検討したので合わせて紹介したい。最後に、近年注目されている人工知能を用いた画像解析についてもふれてみたい。

講演 III

緑内障に関する最近の話題：QOL、DH、PPG

福地 健郎 先生 (新潟大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野 教授)

緑内障に関する最近の話題を3つ。QOL: 緑内障治療の目的は生涯のQOLの維持である。私たち眼科医は緑内障による視野障害がどのようなQOLにどのように影響するのかについて理解を深める必要がある。コントラスト感度測定など別な視機能指標も緑内障患者のQOL評価に有用な可能性がある。DH: 乳頭出血(DH)は緑内障の発症、進行に関わる強力な危険因子である。DH(+)眼とDH(-)眼でクラスター別視野障害進行について比較した。DH(+)眼では視野障害の進行が速いだけでなく中心近傍、下半視野障害の進行が速い。またDH(+)の他眼はDH(-)でも、両眼ともDH(-)眼に比較すると視野障害進行が速い傾向がみられる。PPG: 緑内障診療ガイドライン第4版で「前視野緑内障、Preperimetric glaucoma(PPG)」という用語が正式に採用された。今回は興味ある自験例を紹介し、PPGの診断と経過観察、治療について議論したいと思う。

主催：千寿製薬株式会社

ご参加方法① 現地来場

1. FAXまたはメールにて以下「お申込み内容」を記載いただき、事前申込みをお願い致します。

宛先：千寿製薬株式会社 九州第二グループ 吉住 康男/三村 勇人

FAX：092-272-1409 メール：y-yoshizumi@senju.co.jp

お申込み期限：1月10日(火) 終日

(この紙面をお送りください)

1.ご施設名

2.ご芳名

3.ご連絡先

(電話番号/E-mail等)

**1月14日(土)：第3回 Okinawa Pacific Eye Conference
現地会場にて参加を申し込みます。**

会場参加の注意点

- ・ 感染予防対策の都合上、事前連絡なしの当日参加はご遠慮くださいますよう、皆さまのご協力をお願いいたします。
- ・ 当日ご体調がすぐれない場合、また、感染予防対策対策上必要と思われる場合には、ご入室をお控えいただく可能性もございますので、予めご了承ください。
- ・ ご来場の際には、マスクの着用・手指消毒・検温管理にご理解とご協力をお願いいたします。

※講演会后ささやかではございますが**情報交換会を予定しております**。
感染状況によっては直前での中止の可能性もございます。予めご了承ください。

お問い合わせ

千寿製薬株式会社 九州支店 九州第二グループ

〒812-0027 福岡市博多区下川端町9番12号 (福岡昭和通ビル5F)

吉住 康男 (mobile：080-6232-7651 e-mail：y-yoshizumi@senju.co.jp)

三村 勇人 (mobile：080-1472-6854 e-mail：h-mimura@senju.co.jp)

ご参加方法② WEB視聴

事前のご準備

ご使用になるお持ちの機器(パソコン・スマートフォン・タブレット等)に、ZOOMアプリのインストールをお願いいたします。

※ご視聴にはアプリが必要です。ブラウザ上ではご参加いただくことができません。

事前登録・ご視聴の手順

1 以下のURLまたはQRコードより、ご登録画面へアクセスをお願いいたします。

※本名での登録をお願い申し上げます。

2 必要事項【ご氏名・メールアドレス・ご施設名】のご入力をお願いいたします。

3 画面下部の **登録** をクリックして、ご登録ください。

----- (PC画面サンプル) -----

時刻 2023年1月14日 06:00 PM 大阪、札幌、東京

* 必須情報

名 *	姓 *
<input type="text"/>	<input type="text"/>
メールアドレス *	メールアドレスを再入力 *
<input type="text"/>	<input type="text"/>
施設名 *	
<input type="text"/>	

登録時に提供する情報は、アカウントオーナーおよびホストと共有されます。アカウントオーナーとホストは、その情報を目的とプライバシーポリシーに従って使用・共有できます。

登録

ご登録QRコード



4 ご登録いただきましたメールアドレスに、ご視聴用URLがメール配信されます。当日はそちらのURLもしくはリマインドメール記載のURLよりご参加をお願いいたします。

お問い合わせ

千寿製薬株式会社 九州支店 九州第二グループ
〒812-0027 福岡市博多区下川端町9番12号 (福岡昭和通ビル5F)
吉住 康男 (mobile : 080-6232-7651 e-mail : y-yoshizumi@senju.co.jp)
三村 勇人 (mobile : 080-1472-6854 e-mail : h-mimura@senju.co.jp)